

細腕なんて言わせない!!

326

「人間が好きなんですよ」

「精いっぱい、努めたい」と話す 小野 慶子さん

■キャンパスいわき小名浜代表
■いわき市小名浜下神白字薬師下一六五ノ三

電話／〇九〇—六三七一—四二四



「根本的に人が好きなんです。だからこの仕事できるんです。喜んでもらえると私もうれしくなるんです」と、屈託なく話す小野さん

忙しい家族に代わって介護の手伝い、あるいは高齢者の一人暮らしの支援などを行う組織を立ち上げ、十人余の仲間とともに日々、励んでいるのは、看護師資格を持って今日も走るベテラン、キャンパスいわき小名浜代表の小野慶子さん（五九）だ。

その組織の上部は「全国訪問ボランティアナースの会キャンパス」で、神奈川県藤沢に本部を持つ。「CANNUS」は、「CAN」出来る」と「NUS」看護師として出来ることに精いっぱい努めるの意味があるんです」（小野さん）。

小野さんは群馬県出身。地元の高校を卒業後、埼玉の四年制看護学校へ入学。この道へ進んだのは、「私が足を痛めて病院で治療を受けた時、ときばきと働く看護師さんの姿を目にしたんです。それで、私も看護師になろうと決めました」と、笑顔で話す。

卒業後は埼玉医科大学付属病院に勤務して心臓外科、腎臓内科、呼吸器内科などで看護師としての経験を積む。結婚後、

一九九六年の十一月、いわきに移住し、小名浜生協病院の訪問看護ステーションに勤務。

ここで二十余年にわたり、訪問看護のノウハウなどをじっくり学んだ後、経験を生かして二年前の二〇二三年一月に今の組織を設けた。

居場所いっぱいあれば

「看護、介護の仕事はいろいろ決まりがあるので、そうでないもの、そして限度外について、あるいは必要なものなどについて学びました。この仕事は、意外とスキ間を埋める事業であることも知りました」

こう続ける小野さんが主導で行っている同いわき小名浜の業務内容は、かなり幅広い。

例えば、長時間利用、退院直後の不安な日にも利用できる、家族に代わって医療措置が手伝える、買い物や散歩の支援のほか、介護保険や医療保険と併用、あるいは介護認定を受けていなくても利用ができる「恩恵」もある。

さらにケアの内容としては入浴介助、洗髪、寝具交換、口腔（くう）ケア、おむつ交換など。処置に関しては人工肛門、人工ぼうこうのパウチ交換、在宅酸素療法（HOT）、点滴の管理など、細部まで手を差し伸べて各種の業務に対応している、という。

医療に関するものだけに、この仕事も



利用者の命に加え、精神も優先。現在は小野さんのほか、四十代から六十代まで、専門知識を持つ十人ほどの看護師が対応しており、その都度、家族たちとも経過などについて状況報告、コミュニケーションを図り努めている。

主な料金は、三十分対応で二千円、一時間では四千円だが、「額については私、悩みます」と、苦笑い。

「私、人が好きなんです。できる限りこの仕事はやっていきます。利用者の皆さんから『安心する』『元氣が出る』などと言ってもらえたらうれしいんです」と笑顔で語る小野さんは、「一人暮らしの人が多くみられるので、こうした人が休める場所、居場所がいっぱいあれば」と、現社会への提案を込めて語っていた。



「スキ間を埋める仕事です」

幅広い業務に対応し 利用者と交流続ける

プロフィール

おの・けいち

1966年6月2日生まれ。准看護師の資格を得た後は、夕方から夜まで病院に勤務し、日中は「正」を取るため学校で勉強した経験があり、「ハードでした。親に迷惑をかけたくなかったし」。両親は理容院を経営し「遊べなかったのでクレヨン、色鉛筆で絵をかくてばかり」。今も趣味で続け、個展も開催。得意な料理は「ハンバーグですが、今は夫が…」。A型

■お知らせ=このコーナーでは、自ら選んだ仕事に、あるいはその人生においてひた向きに励み、努めている女性を紹介しています。情報をお寄せください。

※このコーナーは隔月掲載です。

熊谷守一 墨彩画展

墨彩画 40 余点を一堂に展示

◆会期 2025年10月30日(木)~11月11日(火)

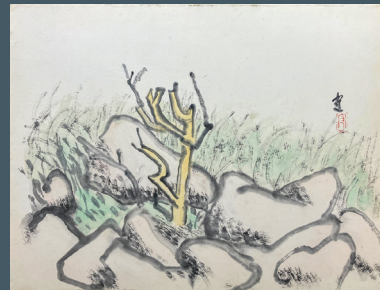
熊谷守一は、明るい色彩とはっきりした形を特徴とする油彩画で広く知られています。特に、花や虫、鳥など身近な生きものを描く晩年の作品は、世代を超えて多くの人に愛されています。ただ、熊谷は 1940 年辺りから日本画（水墨画）も本格的に描いていました。熊谷特有のユニークなフォルムを残しつつ、油彩画の鮮やかな色彩の世界とは違った、なんともいえない淡い雰囲気、熊谷の新たな面を表現しています。「画壇の仙人」の新たな世界をぜひ、ご覧ください。

略歴 (1880~1977)

1880 年 岐阜県恵那郡付知村（現中津川市付知町）に生まれる
1900 年 東京美術学校（現東京芸術大学）西洋画科に入学
1909 年 第 3 回文部省美術展覧会に「氣瀾」を出品
1910 年 実母の死を機に故郷へ帰り、そのまま 6 年を過ごす
1916 年 再び上京 第 3 回二科会展に出品、二科会会員に推挙される
1930 年代より 墨絵を描き始め、晩年、書も書くようになる
1932 年 豊島区長崎町（現千早）に移る
1940 年代より 輪郭と平面による独特なスタイルの油絵になる
1964 年 日本各地で数多く個展が開かれるようになる さらにパリで個展を開催
1967 年 文化勲章を辞退する
1977 年 8 月 1 日死去 享年 97 歳



「蝉」



「枯木」



有限
会社

小野美術

営業時間

午前10時~午後6時
(最終日は午後5時閉場)

いわき市平字中町22番地の2 Kビル1F ☎0246-35-0383

HP: <http://onobijutsu.jp> e-mail: onobijutsu@sirius.ocn.ne.jp